

委ねられた良いものを

再確認して立とう

教育局長 小川 宣嗣



「テモテよ、委ねられたものを守りなさい。そして、俗悪な無駄話や、間違つて「知識」と呼ばれている反対論を避けなさい。」（Ⅰテモテ六・20）

「あなたはキリスト・イエスにある信仰と愛のうちに、私から聞いた健全なことを手本にしなさい。自分に委ねられた良いものを、私たちのうちに宿る聖霊によって守りなさい。」（Ⅱテモテ一・13、14）

*

今月は、3年に一度巡ってくる教団総会が開催され、総会期の回顧や展望報告、総会でしか扱うことのできない条例改正の審議、そして次期代表の選出等が行われようとしています。コロナ禍の深刻な影響の中で、総会代議員が一同に会することは許されない可能性が高く、審議も会場とリモート参加の両面となります。選挙も、当日に会場で行われるものと期日前投票形式を組み合わせるなど、関係者方による様々な準備と工夫がなされつつ、非常事態下での総会が開催されます。大切な総会全体の導きのため、そして主によって新たに立てられた代表のもとに形作られる新体制において、この群れが御旨の方向へと再進発することができますように、切なるお祈りをお願いいたします。

使徒パウロは後継者テモテに対して、「委ねられたものを守るように」と繰り返し語りかけます。第一、第二の手紙の中には、上記の聖句以外にも、「守りなさい」この命が幾度か登場します。テモテ自身は色々な面で弱さや未熟さを抱えながらも、主イエス様と師

であるパウロから選ばれ期待された存在です。彼には正統的な福音が委ねられ、手本とするべき健全な教えのことは託されました。それは「良いもの」、しっかりと守るべきものです。どんなに魅力的に見えようと、いかに知的で賢そうに優れているように見えても、信仰と愛によって委ねられた福音の教えを他の「知識」と呼ばれる反対論に取り換えてしまつてはなりません。パウロは、それを守るために、うちに宿つておられる聖霊に信頼し、御霊の光の中で本当に良いものを見分けて、守るべき良いものを守り、避けるべき不当な知識を避けるようにと励ましています。

私たちイマヌエルの群れにも、主が委ねてくださった守るべき「良いもの」があるはずですが、それは恐らく、健全な意味での「イマヌエルらしさ」を形作つて来た本質的なものではなかったかと思えます。しかし、教団創設以来75年以上が経過、聖宣神学院も70年以上の歴史を重ねて来る中で、自分自身も含めて、その「良いもの」を「良いもの」として評価し、正しく受け止め、ふさわしく伝えていくかを問われているような気がします。時代や社会の変化に合わせて組織改革や条例改正（それらも大切ではありますが）に追われて、本質的に守るべき「良いもの」、この群れを興してくださった主から託され、先輩の器方から教えられ見せて頂いたものがアンバランスになり、希薄になつてはいないだろうかと思ふことができます。願わくは私たちの「良いもの」を再確認できますように！

目次

- 委ねられた良いものを再確認して立とう…小川宣嗣…1
- 総会について、条例審議委員会、年会のご案内…2
- 尊厳ある介護、信徒聖書講座、按手札に向け…3
- 海外トピックス、国内教会局コラム、祈りのネット…4
- 追憶・橋本清喜先生、藤本幸子先生、財務委員会…5
- 広げた翼…6～8
- 聖宣神学院報…9～11
- 公報、消息…12

第22次総会について……

コロナ禍の中で行われます 主の導きをお祈りください



総務局長 寺村秀嗣

第22次総会のためにお祈りをあ
りがとうございます。

条例に則り総会では、①条例改正
案の審議②第21次総会期の報告
③代表選挙および代表按手、④第
22次総会期の方針提案と新教団運
営委員発表を行います。

先月コロナウイルス感染拡大に
よる緊急事態宣言が首都圏をはじめ
各地に出ました。このような状
況下、現時点では2月11日（木）
に会場参加とズームによるオンラ
イン参加併用のかたちで開催いた
します。一週間前の2月4日（木）
午後にはズームの接続テストを行
い、ズーム参加の方も当日ズームに
参加できるように備えます。

会場のフクラシア品川クリスタ
ル港南の会議室は全代議員が参加
しても密にならない十分な広さで
す。昨年の総会招集時には議事の
時間を午後1時～8時と予定して
いましたが、終了時間を1時間繰
り上げて7時終了とします。議事
の間の休憩で夕食をとることはせ

ず、終了時に参加者にお弁当を配
ります。

全代議員62名のうち、牧師と信
徒を合わせて3分の1にあたる20
名ほどの代議員がズームによる参
加を決めています。コロナウイル
スの感染状況によっては今後さら
にズーム参加に切り替える代議員
も増えることが予想されます。

そこで、総会としては重要なプ
ログラムの一つである代表選挙を
確実に実行するために、昨年末に
追加された代表選挙実務規定の新
しい細則に従い、期日前投票を行
うことになりました。当初はズー
ム参加者のみと考えましたが、間
際になってズーム参加に変更した
代議員が投票機会を失うことのな
いように全員が期日前投票をする
ことになりました。期日前投票で
は3名の候補者から代表を選ぶ投
票に加え、一回目で過半数に達し
なかつた場合の再投票も一度に行
うこととなります。想定される上
位2名の候補者が3つのパターン
ありますので、各パターンのどち
らかを選ぶように3枚の色の異
なる投票用紙が用意されています。
投票締め切りは2月10日（本部必
着）です。ただし当日会場出席す
る代議員の期日前投票は無効とな
り直接選挙に臨んでいただきます。

第22次総会期の重責を担う代表
の選挙のために是非お祈りくださ
い。また、コロナ禍の中で代議員
の任を負われる方々の健康と出入
りに主の守りをお祈りくださいま
すようお願い申し上げます。

条例審議委員会から

総会で審議される 変更点について

委員長 林正弘

条例審議委員会では、今月開催
予定の第22次教団総会に提出する
条例改正案作成作業を進めてまい
りました。昨年9月に報告した時
点では、教団運営委員会が検討さ
れた方針に基づき、国内教会局と
聖宣神学院について、組織と運営
に関わる条項を変更することがお
もな内容でしたが、先月号教報に
おける代表の説明のとおり、それ
らの提案は改正案に含めないこと
になりました。

そこで今回は、現在運用されて
いる条例における不具合や不明瞭
な箇所の修正が中心となります。
具体的には、国内教会局に「地区」
を設けること、教務会、信徒局、
厚生委員会等の構成の変更、教職
代議員の年齢制限の引き上げ（信
徒代議員と同じにする）などで
す。また昨年来の感染拡大や将来にお
ける大規模災害の発生を視野に入
れ、オンライン会議などでの議決
について定めた条項を加えます。
特別な状況で行われる総会とし
て、必要最小限の改正にとどめる
一方で、現下の情勢に対応する項
目を含めた改正案です。正しい決
定のためにお祈りください。

第76次年会のご案内

3月に開催される年會に備え ライブ配信で行われます 新しい態勢のもとで

総務局長 寺村秀嗣

「主よ あなたは私にわれれ
を惜しまないでください。あなた
の恵みとあなたのまことが絶えず
私を見守るようにしてください」
（詩篇四〇篇11節）

総会を越えて開催される第76次
年会については、昨年11月の教団
運営委員会でコロナウイルス感染
症拡大の影響がしばらく継続する
可能性が高いと判断し、宿泊を伴
う通常の年会開催は見送りまし
た。昨年も年会を6月に延期し、オン
ライン事務年会となりましたが、
昨年に続いて互いに顔を合わせる
恵みの機会がまた先送りになりま
す。たいへん残念なことですが、
新教団運営委員会による最初の年
会のために主の祝福をお祈りくだ
さいますようお願い申し上げます。
年会の日程、プログラムは次の通
りになります。

3月25日（木）午前10時半から
第22次総会で選出された新代表に
よるメッセージと教職按手式をラ
イブ配信いたします。ライブ配信
会場は中目黒教会となります。な

お、新代表のメッセージは年會終
了後に教団ホームページにもアッ
プいたします。

同日午後1時30分～3時30分は
ズームによるオンライン議事会と
なります。前年度における全部局
の活動報告と承認、新年度の全部
局の活動方針の決定を行います。
議事会には昨年同様全教役者で
はなく、新教団運営委員、新常置
委員会委員長、新監事、全国教区
主事、各地区代表など、30余名の
限られたメンバーが招集されます。
教区主事が教職でない場合は、教
職の代行を立てていただくこと
になりますので、ご理解とご協力を
お願いいたします。第22次総会ま
では新教団運営委員、新常置委員
会委員長、新監事は未定ですので、
総会終了後すみやかに年会招集状
を送付いたします。

昨年同様、任命式は行われませ
んが、同日年会終了後にEメール
で各教区主事を通して全国教会へ
任命表を配信いたします。
転任に関しては4月4日（日・
イースター）が前任教会での牧師
の最後の礼拝となり、その週に牧
師の移動となります。コロナ禍の
中での異動となる教会と牧師、ま
たそのご家族に主の守りをお祈り
ください。

年会資料については2月25日
（木）に各教会へ発送する予定です。
事前に年会報告をご覧ください
り、ご質問・ご意見などがありま
したら3月9日（火）までに本部
宛にお寄せください。

厚生委員会から……

認知症の人と 良い関係を築く ために研修を

『尊厳ある介護』とDVDを用いて

呉教会 内山忠信

里村姉は広島国際臨床教授、広島県認知症介護指導者です。長年の経験からお話くださっています。そして、テキスト本研修をご覧ください。すべてDVDで研修が行えるようになっております。

ビデオ研修で、認知症の理解、認知症の人への対応を学び、次にテキスト本研修で、認知症の学びをして頂くようになっていきます。テキスト本研修では、『尊厳ある介護』という本を使って頂きます。この本は、コピーができませんので、

各教会の1昨年礼拝出席者平均の5人に1冊の割合で贈呈いたしました(なお贈呈の上限は10冊といえました)。

できれば、日曜午後の集会グループで、あるいは集まれる日に少人数で用いて頂き、教えられた事を分かち合い、認知症の方への対応、認知症の方を介護して居られる方への支援について考える機会となることを願います。

認知症になっても安心して教会生活を守れるよう、この研修が用いられる事をお祈りしています。研修をされたの感想、質問等がございましたら、呉教会までお知らせください。

▼研修内容は 左記の通りです
ビデオ研修 (約30分)
テキスト本研修 (約25分)

- ワークⅠ (約25分)
- ワークⅡ (約10分)
- ワークⅢ (約25分)

まず、ビデオ研修をご覧ください。講演者は、社会福祉法人呉ハレルヤ会理事長の里村佳子姉です。



信徒教育課からのご案内

信徒聖書講座の開講

ホームページから配信 「使徒の働き」の学び

信徒教育課 野田 禎

なっています。
▼1回の講義の時間
1回約1時間の講義です。20分を3回に分けて学ばれても良いかも知れません。

岩上先生は「信仰を持たれたばかりの方々を対象に」講義を準備してくださっています。3回の講義を視聴しましたが、本当に分かりやすく、信徒の方々には感動し、次の講義を楽しみにしています。聖霊はペンテコステの時に弟子たちに降られました。そして弟子

たちは力を受け、エルサレム、ユダヤ、サマリアの全土および地の果てにまでイエス様の証人となりました。使徒の働きを学ぶ事によって、聖霊が私たちをきよめ、主の証人とし、教会を導いて下さることを、みことばを通して知ることができると思っています。

教会、個人、グループ、求道者との学びなどにご利用ください。
▼最後になりますが、教育局ではかつてVHSで各教会に「信徒聖書講座」を提供してしました。現在データ化された「主の祈り」「救いの確立」「聖書と私」などをHPで提供していく予定です。

「救いの確立」「聖書と私」などをHPで提供していく予定です。



第3回目は「使徒の働き1章」と

第2回目「使徒の働きの背景、テーマ」

▼講義の内容

第1回目「聖書とはどんな書物? 新改訳2017について」

第2回目「使徒の働きの背景、テーマ」

お祈りをもって備えを 教職按手礼に向け 受験申請が始まる

教育局長 小川宣嗣

「私の按手によってあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせて。」(IIテモテ1・6)
「按手」とは手を置く行為で、聖書的には祝福や癒し、また特に大切な務めに立てる際の任職などの意味が込められています。

当教団の牧師の職位には、教職、教職試験、伝道師、定任伝道師の4つがあり、この中で教職に立てられる際にのみ「按手式」が執り行われ、一人ひとりの上に手が置かれて、教団代表による厳かな祈りが捧げられます。それによって「洗礼と聖餐」の聖礼典を執行する資格が与えられます。また、教職は年会正会員として議決に加わり、また総会の教職代議員に選出される対象ともなります。

神学院を卒業して教職試験となり、条例に定められた一定期間の奉仕を経た方には、この教職へと進む道が備えられ、また期待されています。各教会にとっても、按手を受けて内外に良き証しを立てる牧者の存在は大きな祝福となります。教職試験の皆様の按手礼受験申請をお待ちしています。(詳しくは総務局まで。3月末締切)

国内教会局から

恵み豊かな教会に
教会の会議とは

今年2月に3年に一度の教団総会が持たれます。新型コロナ対策で全員が集まるのが難しい中ですが、教団にとって大切な会議です。主の恵みとみ守りのもと、よい導きを与えられることを祈ります。



教会の会議とはどのようなものでしょうか。キリスト教歴史をたどると、使徒の働き一五章のエルサレム会議から始まり、多くの重要な会議を通して、主は御心を現し、正しい信仰の道に教会を導かれました。教会の会議は主の御心を求めるものです。そこに表わされた主の御心を通して、私たちはビジョンや使命、

(阪下謙)

■共産党監視下に中国で急増
「フォーブス・ジャパン」が「意外にも中国で、クリスチャンが急増しているのをご存知だろうか？」という記事を掲載。
中国の総人口14億人のうち、キリスト教徒は約5%。中国でキリスト教会が公然と活動するには、中国共産党政府が認めた団体に所属し、政府当局に登録しなければならぬ。政府は教会に対して、教会は外国の影響力を排除し、中国人によって教会運営することを要求している。「中国社会科学院」が発表した宗教白書によると、2010年の中国のキリスト教会の数は5万5千カ所、信者は約3千万人。その内訳はプロテスタント信者が2300万人強、カトリックが6百万人、その他ロシア東方正教会の信者などが百万人。しかし非公認の教会を含めると、総人口のうち約10%に近い1億3千万人になると、米国の福音派メディア「クリスチャニティ・

トウデイ」。米国の無党派シンクタンク「ピュー・リサーチ・センター」は6700万人(全人口の5%)だと発表。非公認とは、無届けで運営を行っている教会のことで、カトリック系教会は「地下教会」、プロテスタント系は「家庭教会」と呼ばれている。最近、これら非公認教会の数が増加している。共産党政府は、許可を得ないで活動する宗教を「邪教」とみなし、引き締めを強めている。

(平瀬聡樹)



海外トピックス

■聖書の言葉をABC順にしたら「サイドライン・コレクティブ」というクリエイティブ集団が制作したプロジェクト「BIBLE「HE」」。特注のソフトウェアを用いて聖書をデータ化し、聖書上の単語をすべてAからZのアルファベット順に並べ直して、聖書を再構築。通常、英語で聖書は「THE BIBLE」と表記されるが、「THE BIBLE」をアルファベット順に並べると「BIBLE THE」になる。聖書では、「良い」を意味する「good」は720回使われている一方で、「悪い」を意味する「bad」は18回のみ。また、「男性」を意味する「he」は1万404回登場するが、「女性」を意味する「she」はわずか982回ほどだった。本をまるごとデータ化し、定量的に分析することで過去の考え方や価値観を紐解こうとする、非常にユニークな試み。電子書籍では10ユーロで入手できる。

祈りのネットワーク2021

困難な状況だからこそ祈りを！
祈りに心を合わせて



編集担当 吉村和記

■本誌の役割
辛い、私たちの群れには「祈りのネットワーク」があります。それは本誌の名称だけを指すものではありません。実際にこのネットワークが実現しているところに希望があります。どうか今年もご協力下さい。本誌を広げる時、「祈り」によって結ばれていることに共に励ましを受けましょう。

■今年もまた笑顔の写真を！
毎年の楽しみは、先生がたや教会の方々と写っておられる写真を見ることです。皆さんの明るいお顔にはほのぼのとさせられます。どうぞ、今年も新しい笑顔の写真を送ってください。そして、祈りの課題においても、同じ課題を毎年継続して祈る素晴らしさもありますが、新しい視点に立つて、今年は課題も変えてみてはいかがでしょうか。本誌で割り振られたその日に、全国の先生がた、信徒がたの祈りの力が結集します。新たな課題が実現する喜びを必ず体験できます。そう信じて今年も心を合わせてお祈りしましょう！

■原稿提出は3月末までに

①先生がたの顔写真(単身の女性の先生方は教会員と一緒に、教会活動でも可) ②教会外観の写真

③祈りの課題3点

●提出期限 3月31日(水)

●送り先 久留米教会(吉村)

*できればメールで。封書も可。

inori@manuel.or.jp

今年も「祈りのネットワーク」を作成します。毎年、先生がたには3月末までの原稿提出にご協力頂き、ありがとうございます。今年も宜しくお願ひします。
■コロナ禍を突き抜けるもの
それは「祈り」です。ソーシャルディスタンスを保ち、三密を避けることを強いられるコロナ禍の今の世において、「祈り」だけは、ディスタンス(距離)を越え、神さまと各教会との関係を濃密なものとしします。ですから今ほど、世界にも日本にも「祈り」が求められる時代はありません。それが出来るのが私たちキリスト者です。
■想像力は愛を育む
悲しいことに、何年も前から時代とこの世を象徴するひと言は「分断」です。分断の原因の一つは、想像力の欠如。だと私は考えます。相手に対する想像力が失われる時、否定的な評価が先走り、自分も弱さがあると示され、そ

追憶

故橋本清喜先生

2020年11月22日ご召天(享年89)

「私にとっては生きることがキリスト」(ピリピ二・21)

1931年2月8日、福島県郡山市にて誕生。その後小学4年生の時、父の勤務で満州奉天に渡りました。戦後の代々木予備校時代の1951年6月3日に丸ノ内教会で葛田二雄師によって受洗、秋の聖会で聖潔の信仰に立ちました。

伝道者の召命に与り、1953年に聖宣神学院に入学しました。1956年大湊教会の開拓が伝道者としてのスタートでした。その後、大阪伝法教会副牧、1961年に岡本敦子牧師と結婚、十和田、盛岡、札幌、甲府、狭山の諸教会で伝道牧会に従事し、その間に一男二女に恵まれました。

2009年3月の年会において



退任、3月26日に駅前広場において常のように聖日案内の看板を立て案内をしました。翌日27日に送別礼拝を守り、31日にはキングスガーデン主の園に入居いたしました。主の園では書道部に属し、聖句書道に専念しました。2014年の検診で肺がんの宣告を受けましたが、体力の衰えで治療は中止。緩和治療の道を提案され、専ら祈りの生活に入りました。聖徒方の篤い祈りをいただき、次の検査結果ではその影すら消え、主の御業に与りました。介護や支援を受ける生活の中で、昨年11月に風邪で入院、肺炎を併発し一時は昏睡になりましたが、しばらくして目を覚まし、再度の召しに与り、今度は静かに主の御許に帰りました。22日夜10時53分でした。89歳という長寿をいただき、53年の伝道者生涯はただただ召し給うた「主の憐れみの尽きざるによる」ものでした。同労者のご教導、ご厚誼、ご援禱のゆえであります。また聖徒方の温かいお交わり、ご援禱に温かく包まれました。主が豊かにお報いくださいますように祈りいたします。心よりの御礼を申し上げます。(橋本敦子)

追憶

故藤本幸子先生

2020年12月1日ご召天(享年90)

母 藤本幸子は、昨年12月1日に天に召され、11日に家族葬、翌日に高津教会からオンラインで別れ会を配信しました。視聴による列席を心から感謝いたします。

末期癌の母に何度もお手紙をくださった河村迪子先生が追憶を述べてください。裏先生も出席くださいました。コロナが始まる2月に神戸から岩上輝雄先生が両親のために祈りに来てくださいました。岩上先生が先に天に召されるとは、想像もしていませんでした。

主イエスの救いにあずかり、牧師となり教会に仕え、恵みによって生かされました。90歳でした。弱っていた父も連続した葬儀を担うことができました。父の挨拶文の一部を掲載して感謝の辞とい



します。幸子の人生、最後は癌との戦いでしたが、勇敢に走り抜きました。騒ぎ立てず、静かな戦いでした。自分の死が近いことをよく承知していましたが、自分の命を大切にしていました。食欲がないときでも、食事は感謝していただき、看護師たちに対しても明るく受け答えをしていました。* (藤本満) 牧師家庭には独特な苦勞があります。その中であって、幸子はいつも明るく前向きに信仰的に家族を支えてくれました。長女の誕生に際して、尊敬する葛田二雄先生が詩篇一一五篇13節から「めぐみ」という名前をくださいました。漢字は「祝」とする。「祝」に「めぐみ」とふりがなをふってあるのは、他に創世記二二章2節のみ。「この家庭がアブラハム的な祝福となるように」という願いが込められています。これからの奉仕を励んでほしいです」と手紙は結ばれていました。夫婦で時間を忘れて夜遅くまで語り合ったことを思い出します。これまでの主にあるお交わり、お祈りに感謝します。(藤本栄造)

財務委員会から

4つの働きを支える 4つの献金を共に

委員長 田中進

私たちの教団は「聖と宣」を掲げつつ、自給精神でそれぞれの働きを開始しました。それが、全国の信徒の皆さまによる3つの宣教献金に現れていました。まず「国内(開拓)宣教献金」は専ら「全県攻略」の資金に用いられ、それを達成しました。今は経済的に困難な教会の支援金に充てられています。また「世界(国外)宣教献金」にも力を注ぎ、宣教師を海外に派遣し、その働きを支えてきました。また今日も6か国でその働きが継続されています。国内開拓も世界宣教も、それを可能としたのは、そこに派遣される伝道者養成機関としての聖宣神学院の働きです。現在卒業生はすでに500名を超え、それを支えてきたのが「神学院サポート」献金です。教団の歴史は同時に働き人の歴史であり、現在50名越える引退された先生方を「厚生資金献金」を用いてお支えています。各教会を通して実施されている「4つの献金」で継続されている、それぞれの働きに毎月の献金をもってご参加くださり感謝いたします。今後もよろしく願っています。(専用の献金袋があります)。

巻頭言

なんと大きな主の憐れみ



世界宣教局 葛田 敬子



広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

http://www.immanuel.or.jp/world/

「実に、私たちは滅び失せなかつた。主のあわれみが尽きないからだ。」(哀歌三章22節)

日々報じられる中、この原稿がお手元に届けられる頃、果たしてどのような状況になっているのかはわかりませんが、主の尽きない憐れみを仰ぎつつ、前に進んでゆける者でありたいと願います。

どうなりますか。私たちが罪人であるという事は、その位、滅んで当たり前、という状態にあるという事です。それなのにあなたが轢かれなかったとしたら、それは奇蹟です。あなたと列車の間に立ちただかかってくださった方が、あなたが受けるべき衝撃を代わりに受けてくださったことであなただが救われたとしたら、あなたに誇るべきことはあるでしょうか。」

新しい年を無事に迎えることが出来た。今回は50年ぶりに兄と年を越すことができ感謝でした。昨年コロナで4月に帰国し、7月に飛行機が出ず、外務省から渡航中止勧告が発令され、しばらく日本での待機となり、日本の医療研修に充てさせて頂きました。



ZAMBIA

ザンビア

富澤 香*2021年1月11日

新年を迎え、この年も主の臨在を確かめながら歩んで参りたいと思います。この時期のザンビアは雨季です。ジェンボでも今季は豊かな雨が降っているようですが、やや降り過ぎて作物への被害も出ております。食物確保ができるようお祈りしています。



ZAMBIA

ザンビア

ねまわり 根廻恵子*2020年12月26日



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世*2021年1月12日

「信仰の創始者であり、完成者である主イエスから目を離さないでいなさい。」

(ヘブル二二章2節)

新しい年を迎えましたが、台湾では旧正月までの締め括りの歩みの中にあります。1か月内に新年を2度迎えるという何年経っても慣れない不思議な思いが去来するのがこの時期です。

台湾の人々にとって、宗教は必要なものであり、一般的に宗教に対する抵抗はあまりありません。むしろ何かの信仰を持っているのがふつうです。市内を散策すると、住宅エリアの随所にマンションや商店、学校などと共存する形で、寺社仏閣が点在しています。時おり教会もあるのですが、特に目を引くのは道教の廟のあでやかな色彩です。あのカラフルな色彩に、最近ではLEDを廟全体に施したライトアップ装飾が加わり、毎日夜遅くまで、キラキラと光っています。それぞれの宗教の記念日に

は、どこからともなく信者が集結し、鐘や銅鑼、笛や太鼓の大行列が周辺を闊歩します。先日、台南で百足の神さまの行進に遭遇しました。自転車のリヤカーを何十台と繋げ、その上に神々役と思われ、それを負かな年配者が押しながら進んで行く光景に、すべてがあげこべの、何とも言えない複雑な思いがしました。数多の宗教が混在し、人々の心にはいつのまにかいろいろな形で宗教が取り込まれていきます。「神さまは多ければ多いほどよい、役に立つから」という、何とも自己流の宗教観、価値観の中で、台湾人にとってキリスト教も、その一つに過ぎないと考えられているのかもしれない。

そのような中、台中市内の教会、牧師会では、長年、クリスマスの活動を大々的にできないか。市政前や音楽ホールの前でキャロリングができないだろうかという声上がり、議論が重ねられ、祈りと働きかけが積み上げられてきました。宗教を文化との融合という枠組みでとらえ、観光都市として展開する

台南市や物事の新しい考えや流行に敏感な台北市では、もう何十年も前から認可し、許可してきた活動です。台中市では、なかなか実現されず、そのうちに新北市や高雄市に先を越され、昨年、台湾最北端の都市、基隆でその活動が好評を博したことが契機となり、昨年台中市政府前広場でのクリスマス活動が開催されることとなり

ました。当初は、「市内の教会がやりたいのであれば、ご自由にどうぞ」とのスタンスだったと聞きましたが、準備段階の途中から台中市の全面仕切りが変わり、当初の計画とはかなり、いえ、ほとんど変更されたのですが、クリスマスウィークに、クリスマスキャロルが市の中心部・市政府前広場で大音量で流され、熱唱され、クリスマススの聖書物語が語られました。広場の後方には、ワークショッップが6列に立ち並び、市内の有志教会やクリスマスチャンのオーナーが思いの店舗を広げ、大賑わいでした。その光景を見ながら、コロナ禍の制限のある大変な時期によく開催することができたと、主の愛とあわれみに感謝し、また来年以降も毎年開催されるようにと祈りました。

台中教会と台南日本語礼拝のクリスマス特集に関しては、年初に全国教会にお届けしましたニューズレターをご覧ください。台中教会では、教会総動員でクリスマスストーリーのオペレッタを上演することができました。賛美や音声の吹込みから人形操作まででんやわんやでしたが、楽しむことのできたクリスマスでした。台南日本語礼拝では、台南聖教会で毎日のようにクリスマス特集が続く中、奉仕者や日本語礼拝メンバーにとってクリスマスの意味を見つめ直す静かなひと時でした。

新しい年は、冒頭の聖句を与えられての歩み出します。どのようなことがおこっても、主イエスさまに目を留め、主を仰ぎ見ながら、一歩一歩進んで行きます。引き続きお祈りとご支援を宜しくお願いします。



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2021年1月13日

「彼は、全き心で彼らを救し英知の手で彼らを導いた。」
(詩篇七八篇72節)
一学期も無事に終わり、コロナ

禍で迎えるクリスマス。普段出席しているロザリス教会では、クリスマス礼拝後、例年のような愛餐のときは持たれませんでした。プレゼント交換だけが行われ、祝日も簡素になされました。こうして教会では自粛されながらも、イブの夜、そして年越しにはあちこちで花火が上げられていました。学校のプロモーションのために2つのウェスレアン教会を訪問しました。アニス教会は、一度訪問したことがあり、以前はハロプロック、コンクリート剥き出しの教会でしたが、現在は壁にはクリーム色のペンキが塗られ、床には煌びやかなタイルが貼られ、屋根も頑丈なカラースチール屋根に張り替えられていました。このことのためにメンバーの方々がどんなに祈られ、捧げられてこられたかを想像すると、主がここまで彼らの信仰を支えて下さったことに感謝しました。

サンタローサ教会には昨年も訪問する機会がありました。宣教師で訪問するにはそれほど遠くない教会なのですが、今回は教会に行くまでの道が行き止まりになっていたので、遠回りして行かなくてはならず、宣教師がなくては辿り着けません。教会学校では恭子の準備してきたお菓子の景品付き手作りゲームで子どもたちが楽しんでいました。

校長アレックス先生の父アンヘルさんが召天されました。アンヘルさんは、一時、大工技能を生か



して、建造物の建築、修繕を手伝っていただきました。私たちの宣教師館のドアや網戸を修繕してくださったのもアンヘルさんでした。ウエスレアン教会代表、ギリアマ先生ご夫妻に他州を跨がるための許可証を取得していただき、彼らを宣教師でお連れし、又エバビスカヤ州カバナトゥアンにある葬儀場に出かけました。およそ60〜70人ほど家族、遺族、関係者が集まり告別式が執り行われました。アンヘルさんのカンナで木材を削って寡黙に働かれている姿が懐かしいですが、今は、主の御許で安らいでいることと思います。

常喜の右目のためにお祈り頂きありがとうございます。その後、血圧抑制剤を服用し続け、血圧も150/85と下がってきましたが、依然右目網膜の回復には至っていません。お祈りの程、宜しくお願い致します。■



CAMBODIA
カンボジア

葛田緑乃*2021年1月13日

「地が芽を出し、園が蒔かれた種を芽生えさせるように、神である主が義と讚美とを全ての国の前に芽生えさせるからだ」

(イザヤ六一章11節)

「荒野と砂漠は喜び、荒れ地は……サフランの花を咲かせ……彼らは主の栄光、私たちの神の威光を見る。」(イザヤ三十五章1、2節)

今年の戦いの土台となる御言に希望を置き出しましたが早くも2月。サフランの花の咲く地を望みながら、神栖の地で待機の日々です。1月4日の夜、カンボジアのヴァンディ師と今年最初のスカイトークをしました。夜間3時間半に及ぶ、新年のご挨拶、働きの報告、協議の後、執成しの祈りで閉じたのは常のごとく真夜中の12時過ぎ、尽きない話題はまさにあのパウロとテモテの霊的戦場からのやり取りを想い興します。教会の建て上げに関する諸課題、伝道者としての訓育、励まし等、次々と……。しかし、感謝なこと

はスカイプが繋がりに、彼の満面の笑顔がパッと画面に映った時、その笑顔に彼と主との関係が確かであり、深められていることを領かせられた素晴らしい一瞬！それは中々思うように道が再開せず、祈っている課題問題が「忍耐を強いられる状況」に在り続けるがゆえに、ともすれば心中を重くしてくる霊的戦いの中にあつた私自身に彼の信仰と日々の主との交わりから反射された輝きで、不信仰の雲を吹き飛ばす恵みの光でした。周りを取り囲む諸問題やコロナの妨害も益に変えて、天来の知恵により問題を処理してゆく彼の微笑みに主は確かに彼の心中に宿り、父なる神のベストの御心に委ねた姿に励まされる一瞬で、宣教師たる私への神様からの励ましのメッセージです。グレッグ先生は？と尋ねると彼は例のフィリピン人、無実の罪で投獄中のパウロ兄の裁判が不発に終わり、不正の勝利を突き付けられたまま新年を迎えたこともあり、信仰の灯が弱くなり、初めの頃の救霊のパッション(熱意)が失せてきていることをヴァンディ師に話されたとのこと。しかし主は彼の弱った時すら福音の伝達のためにさらによりき方法、彼の開拓するP.P.C教会のクメール語のグループとヴァンディ師の教会をオンラインで結び、事実上一つの群とされました。ここにもうサフランの花が咲いていました。(下の写真は収録風景です) ■



■会計報告12月分

宣教師金 三、八九五、八三四円
月平均 一、八二九、九二二円

お祈りの課題

フィリピン(豊田)

◆後期オンラインクラスが始まった職員と学生の健康と霊性のため。常喜は3科目担当します

◆ウエスレアン教会の霊的、経済的な必要のため

◆事故、事件、過ち、災害、病氣、疫病から家族が守られますように。常喜の右目網膜の回復のため

◆カンボジア(富澤)

◆ジエンボ職員の働きのため

◆カンボジアの経済と生活の見守り

◆コロナ禍が終息しますように

◆カンボジア(根廻)

◆カンボジアのコロナ感染状況の悪化に伴い1月15日の再赴任が急遽キャンセルとなりました。今後の導きのためにお祈り下さい

◆宣教師不在の中、宣教師館・宣教師を管理して下さっている知人のために

◆お支えがジエンボにあるようにカンボジア(葛田緑乃)

◆K.C.Cの活動に御霊の働きと業が豊かに拝されるように

◆無実の罪で獄中にあるパウロ兄の獄中生活に主の生ける証人とされ福音の勝利を拝することができるよう

◆コロナ終息と宣教の門の再開、葛田の狭窄症(痺れ) 全快のため台湾(平瀬)

◆教会が雄々しく証しできますように。健康と生活、出入りが守られますように

◆新しい年を踏み出した台中教会の上に神の導きと支えがありますように

◆台湾の政治と経済、教育、治安が安定を見るように。国際情勢が緊迫化を増しています

◆日本にいる子どもたちの心とからだ、生活が守られますように

◆香港(鹿島)

◆コロナが収束し、集まってくる礼拝が再開できるように

◆旧正月(2月12日)の営みが行われるように

◆政治安定と社会秩序のために大陸への門が開かれるように

◆ケニア(葛田就子)

◆コロナ関連のストレスの中にある患者、家族、スタッフのため

◆麻酔科、整形外科を始めとする働き人(ルカー10章2節)が起されるように

聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

主のことばによる祝福を求めて

院長 ● 林 正弘

「わたしの口から出るわたしのことばも、わたしのところに、空しく帰って来ることはない。それは、わたしが望むことを成し遂げ、わたしが言い送ったことを成功させる。」(イザヤ五五・11)

*

新型コロナウイルスの問題が顕在化してから一年が経過しました。問題はますます大きくなり、収束の道筋は見えてきません。状況が改善したら教室で、と願っていた神学院の授業も、オンラインの形のまま学年末を迎えることになりそうです。このような中でも、皆さまのお祈りにより、恵みのうち

に支えられていることを感謝しております。

各教会でも教会総会において計画が立てられて営みが進められ、私たち一人ひとりも、計画や希望をもってこの年の歩みをスタートしましたが、願ったとおりにはいかない現実と直面することは十分ありうることです。それは喜ばしいことではありませんが、計画通りにいくことが最善であるとは限りません。冒頭のイザヤのことばの少し前には「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、あなたがたの道は、わたしの道と異なるからだ。」との主のことばがあ

ります。そして当然のことながら、主の思い、主の道のほうがはるかに優れています。私たちは、神さまのご計画に間違いはないと分かっているながら、自分の思いと違う道を示されると、それをなかなか受け入れられないことがあります。それでも、私たちはへりくだって、主の最善を信じて受け入れ、従っていきたいと思います。主のことばは、空しく終わらずに主が望まれることを実現させます。それは私たちに祝福となるものです。ですから、私たちは厳しい現実のなかにあっても希望を持つことができます。現実が厳しいければ厳しいほど、主の祝福のすばらしさは輝きを増します。主が何を成し遂げてくださるのかを期待しつつ前進したく願っています。



駐車場の横にかわいい水仙が咲きました

神学エッセー

福音理解の諸相 3 特定の宗教か普遍的恵みか



戸塚雅昭

福音とは何か。聖書は示す。神のひとり子イエスを救い主と信じらば、罪は赦され、義と認められ、神の子どもとされ、聖霊を宿すものとなり、永遠の命が与えられ、栄光の体への復活に預かるという良い知らせのこと。

一方でイエスさまはその先を示された。天と地が刷新され、神の治めてくださる世界が実現すること。そして言われた。「すべての造られた者に福音を宣べ伝えよ」。私もこの福音を紹介する。でもよい知らせだと受けとめてくださる方は少ない。その原因が相手にあるとは限らない。私のこだわりも強いのだろう。人から「あなたはそう信じているんですね。私は信じる気はないけれど」と言われると、それ以上先には進まない。私たちキリスト者は、恐らく一般の人から見れば、キリスト教という特定の宗教を信じている人達であって、深く関わりたくはないと思われている。宗教への警戒心？何だかわかるような気がする。

私もかつては、イエスを救い主と信じるのに苦勞した者である。神も仏も人間の思考の産物であって、どの宗教も壮大な集団妄想的気休めに過ぎないと考えていた。また、それぞれの信仰者は、うちこそ唯一の真理であると主張し合い、争いにまで発展した歴史的事実を前に、宗教に対する懐疑的な思いや嫌悪感はかなり強かった。それでも、不思議なように私がキリスト教に関わりを持ったのは先行的な恵みだったのだろうか。近所の教会に通い続けるうちに、聖霊によって、私の救い主イエス様との出会いという表現しがたい経験に導かれた。十字架復活による救いの道を主と歩める喜びが心に沁み渡る。そして実感した。「これは宗教ではない。私のためにも用意されていた恵みだ」と。

福音はすべての人に必要な普遍的恵みである。それを紹介する時に、キリスト教という宗教の枠組みが外れないのはもどかしい。それでも、世界有数の宣教困難国と言われる日本において、キリスト教に対する印象は概して悪くはない。ミッションスクール、結婚式、音楽・美術・文学、看護や福祉等多くの分野に人々が求めてやまない普遍的恵み・福音の種は、日ごとにかかれていく。一粒でも多く人々の心の中に芽生えて実を結ぶために、福音の恵みにすでに生かされている私たちのあり方が問われ続けてきた。「イエスさまからの宿題」は当分終わりそうにない。

◆神学院での新しい気づき

人となられた
お方が私に

聴講生 石川牧子

「誰かの救いのために召されてここに居る」……そう思って学びをしていました。しかし誰かではなく「私」が救われるために学びがありました。外側から見たキリスト教を学ぶキリスト教概論。日本や社会、世界から見たキリスト教。これは私が五年生の頃から28歳で救われるまでずっと問い続けてきたことでした。人間関係論は自分の感情を深く捉え、自分を知り、相手を知る学びでした。この二つの授業を受ける傍ら、私生活の中でとても苦しい時期を過ごしていました。自分がクリスチャンホームで生まれ育ったが故に痛み苦しんでいた過去が思い起こされる機会が重なり、自分がどんどん窮屈になっていました。救われた時に、その痛みも含めて全ての苦しみが解決されたかと思っていました。間違いなくイエス様の愛に救われ、人生が大きく変わりました。しかし、その過去の痛みに対してちゃんと癒す過程を踏んではおらず、この学びの中で、不思議な形で主が明るみに出して下さったのです。クリスチャンホームなだけ

で負わなくてはならなかった痛みは、私にとつて決して小さくはありませんでした。それゆえ私は自分の意思で教会と家族、キリスト教から決別しました。そしてつとキリスト教のことを批判しながら問い続けた結果、納得してキリストを信じる道を選び取りました。授業をしている時間の中で、この自分の問いと痛みに触れる機会が度々ありました。その中で、イエス様がこの窮屈になっていった私に、そして苦しんでいた過去の私に直接御手を触れて下さり、「悲しかったよね、わかって欲しかったよね」と共に何度も泣いて下さいました。ここでの学びは誰かのためではなく、誰よりも「ここに居る私のため」に用意された憐みの時間です。「私はあなたの祈りを聞いた。涙も見た。見よ、わたしはあなたを癒す。」(第二列王記一〇・5)

◆神学院での新しい気づき

見えないものを見る目

正規コース 林 眞光

「……人はうわべを見るが、主は心を見る。」(第一サムエル記一六・7)

2020年は様々な難しさや挑戦がありました。皆様のお祈り

に支えられ新しい年を迎えられたことを感謝いたします。

私は変化をあまり好まない人間だと思えます。新しく何かを生み出すことも苦手です。なので何か型にはめることが大好きです。自分の中にある型にはまらない人にはあまりいい感情を持たないと思います。信仰生活でもそうでした。他人の姿を見て自分の思う信仰生活の在り方、クリスチャンはこうあるべきだろう、という考えに当てはめて考えようとします。自分の型に当てはまらない人には抵抗感を覚えていました。何とか自分の正しいと思っている型になってほしい。そう思っていました。

しかし授業を通してこの考えは変えられました。教会演習の授業で、「意味」と「形態」についての話を聞きました。何かの「形態」には「意味」が必ず込められている、ということ。このことを通して私の間違っていると思っ



本館の横から院長館を望む

ていた「意味」が必ずしもイエス様を信じていない「意味」になっていくわけではないことに気づきました。

私は、信仰者は教会に来るべきだと思っていました。それが私にとつてのイエス様を信じているという「意味」の「形態」でした。しかし教会に来ない人が必ずしもイエス様を信じていないというわけではありません。それぞれの事情があり、信仰は持っているけれど今は教会に行けないという人もいます。その人の持つて

いる「意味」を知りその人にどう寄り添うかが大切だと思います。私はまだまだ目に見えるところでしか人を見る事ができません。しかし神様がうわべではなく、人の心を見て下さったように私も見えないものを見る目を養い、相手に寄り添えるようになりたいと思います。

後援会コーナー

コロナウイルス感染拡大の中で
卒業生・在校生のために
お祈りの手を挙げよう

聖宣神学院後援会

昨年度計画されたことの多くが今年に延期されましたが、コロナの脅威が収まっていらない折、さら

なる延期や中止、また形を変えての実施となっております。様々な計画の変更や形態が変わっても「祈り」は変わらずに継続されていることを思いますと、「祈り」は神さまの範疇なのだと思付かされます。2月は第22次総会期を迎え教団の体制も若干の変更があるかと思いますが、引き続きBTCとBTC後援会の働きのためにお祈り頂きたくお願いいたします。

- 1 現在在籍の神学生のために
田中利道兄(短期)、藤井佳代子姉(短期)、石川順兄(正規)、石川牧子姉(聴講)、矢代ゆう姉(聴講)、金承柱兄(聴講)、林眞光兄(正規)、山田由紀子姉(短期・通信)、福田秀子先生(休学)
- 2 昨年3月に卒業され、現在牧師として教会に遣わされ、ご奉仕に励んでいる先生方のために
竹内俊之先生(姫路)、峯尾仰生先生(北九州)、中尾敬一先生(武蔵村山)、秋田郁美先生(町田福音)
- 3 3月1日予定の春期入学審査の受験生のために
- 4 神学院の経済的な必要が満たされるように
- 5 教師、職員、信徒でご奉仕してくださる方々(食堂、図書、営繕、ペテルハウス)のために
- 6 後援会の世話人になって下さる方々がさらに与えられるように
- 7 今年から開始された「BTC後援会会費」に多くの教会の方々が加わって下さり、BTC後援会の経済的な自立がなされて行きますように

(池田光重)

いま神学院では…… 牧会学を担当して思うこと 教師●田中 進



わっていないので、彼らからはそれを求めない。こんな失敗だらけの私も現在牧師職を続けられているのは、主の憐れみであり、同時に、「神がご自分の血をもって買われいるからに他ならない。」

教えられつつ歩む

人材不足の故に牧会学を私が担当することになって数年が経った。「牧会学」とは牧師としての基本的スタンスを学ぶ重要な神学の一つである。思い起こせば、当初から「私は教師として教えるというよりも、神学生と一緒に学ぶという立場で行こう」それならと、引き受けることになった。

失敗から学ぶ

牧師駆け出しのころ、「成功談は聞きたくない。結局自分を誇っているだけだ」とのある発言を受け、自分たちの「牧会事例研究」をすることに。ところが一回切りで終わってしまった。同じ教団(教区)の中で、自分の失敗をさらけ出すことに躊躇したのだと思う。事例研究の目的はそれを共有し、今後の牧会に活かすためである。しかし当時は無理であった。前提そのものが共有されていなかったからである。

今は教室(オンライン)が主である(が)で、必要なら自分の失敗も分かち合おうと思って授業を担当している。神学生はまだ牧会に携

「牧師になると先生と呼ばれるようになる。そうすると私も今までのようには指導できない。」これは、私の恩師である故川口始先生が、神学院に向かう時にくださった会話の中の一言である。4か月ほどであったが、神戸教会の母子室で寝起きしながら献身者として生活させていただいた。理不尽な要求と思われることもしばしばあった。あの優しい先生が何でこんなに厳しいの、と感じることも少なくなかった。そんな私を見透かしておられたのであった。なつかしい思い出である。

牧師は教会では先生と呼ばれるが、「知らないこと」は恥ではない。知らないことを知っていないことが課題であると思う。「教えられつつ歩むことが肝要である」ことをこの時語られていたのかと今になって思う。あれからもう数年で半世紀。なんと多くの方々教えられてきたのだろうか。聖書や書籍からは言うまでもないが、私の牧師仲間、信仰をともにするお一人ひとり、妻、子どもたち、これらも学ばせていただく。

同窓生の近況

58期生

安食教会●島田貴子



神学院を卒業して函館に5年、休養の後、安食に遣わされ5年になります。その間、熊本地震、主の召天、病氣、今回のコロナなど様々なところを通らされていきます。すべての中に主の御手があり、先生方や兄弟姉妹方のお祈りとご愛を有難うございます。

初任地では、どのような時も恵みをバネにと教えられました。それが共に、人は本当に弱いものであること、祈りを教えられ続けているように思います。

主と多くの方々が大変なご忍耐を頂いているものです。このような者をも導いてくださる主に感謝しかありません。自分は本当に神様のあわれみの器だと思えます。

元旦にインマヌエル讃美歌の『いかなる恵みぞかかる者をも』を久しぶりに賛美しました。その中の「価値なきこの身も整えられた」という、神学生時代から好きだったフレーズが再び心に響き、これからも主に任せて主が喜ばれる姿に整えられていきたいと願っています。先生方、兄弟姉妹方が守られますように。感謝をこめて。

神学院スタッフ…恵みの想起

この歳になつて

図書館 新垣重夫

今年誕生日が来れば85歳になります。主に召されて。召しの声を聞いてから58年、牧会伝道55年になります。さらに、神学院図書館の任命を受けて30年になります。これは僕にとって本当に感謝なことでした。それは3つあります。1つは三森先生との交わりの特権が与えられたこと。2つは説教の準備に困らなかったこと(図書館ですからね)。3つは新しい研究課題が与えられたことです。(これについてはあまり詳しく述べられません)とにかたく皆さんの本を読まねばなりません。ところがこれと思う本には必ず「三森寄贈」とあります。不思議です。今執筆中で間もなく完成します。これは図書館でなければできなかったことです。本当に感謝です。

- 今年度は結局最後までリモートでの授業になりました。対面には及びませんが、コロナ禍の中でも授業を継続できる強力なツールであり、感謝しています。先生方、ありがとうございます。
- 卒業式までいよいよ1か月。神学院運営委員会で卒業判定が行われました。2名の方が巣立つて行かれる予定です。
- 3月1日(月)に入学審査が行われます。お祈りください。
- 3月12日(金)の卒業式は、院長が卒業証書を授与する場面を映し出し、参加者はネットで参加する形になります。詳細は後日。
- 神奈川県では感染者数の増加が報じられ、ホテルハウスの宿泊利用は見合わせています。お問い合わせは学務課の馬場姉まで。
- 神学院祈り会は行いません。
- 後援会コーナーが新設されました。ぜひお読みください。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。12月の会計報告をさせていただきます。

12月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥2,000,000

教会員による「神学院サポート献金」
¥721,750

教会団体による「神学院献金」
¥818,100

合計 ¥1,539,850

その他の献金(一時・特別)
¥123,000

・振替：00230-0-10138

学苑だより



公報

本部通達

「起きよ。輝け。まことに、あなたの光が来る。主の栄光があなただけに輝く。」

(イザヤ六〇章一節)

新年度の歩み出しに主の導きと祝福をお祈り申し上げます。コロナウイルス感染拡大の影響で今月に延期された教会もあります。寒さと雪との戦いが厳しい各地域の諸教会を覚えつつ、主のみ助けをお祈りいたします。

■本部

(会議)

9日(火) 会計監査

(2020年決算書監査)

11日(木・祝) 第22次総会

会場Ⅱフクラシア品川クリスタル港南

23日(火) 教団運営委員会

■総務局

(第22次総会)

教団総会については本紙2ページに詳細が記載されています。

(第76次年会の関連のお願い)

3月25日(木)に開催する年会については本紙2ページに説明がなされていますとおり、オンライン開催となります。詳細をご確認ください。

例年通り、各教会の先生方には事前に年会資料を送付いたします。質問等がある場合は、3月9日(火)までに、本部・総務局長宛に書面にてお送りください(メール・FAXも可)。

宛に書面にてお送りください(メール・FAXも可)。

▽「境内地・境内建物の登記簿本」の送付にいつもご協力いただいておりますことを感謝申し上げます。

会堂建設等で提出後に変更のありました教会は、速やかに最新の謄本提出をお願いします。本部にて、被包括法人の最新の状態を把握しておく必要がありますので、ご協力をお願いします。

▽教団ドメインのメールアドレス @immanuel.or.jp/@igm21.com を使用の先生方で、新規登録や変更・廃止、メーリングリストの希望などがありましたら、本部総務局の佐藤信行師までご連絡ください。

▽各教会宛の定期的本部便の再開は未定です。

▽単位法人格を持つ教会は、毎年の法的義務として、毎会計年度終了後4か月以内(本教団の場合、通常4月末まで)に、宗教法人の事務所に備え付けの書類の写しを、各都道府県所轄庁に提出するようお願いいたします。この場合、事務所に備え付けの書類とは、役員名簿、財産目録、収支計算書・貸借対照表(作成している場合)、境内建物(財産目録に記載されているものを除く)に関する書類、事業に関する書類(行っている場合)となります。提出の際、同じ写しを本部総務局長にもご提出ください。よろしくお願いたします。

▽教職按手礼試験について、教職按手礼試験の受験希望者は3

月末までに総務局へ申請書の提出をお願いします。相談は各地域担当ブロックアドバイザーまで。

■世界宣教局

▽昨年も宣教コイン献金にご協力いただきありがとうございました。昨年12月末までに届にお送りいただいた献金は1,703,366円でした。引き続き献金をお受けいたしますので本部送金の際には「宣教コイン献金」と明記の上、ご送金をお願いいたします。

▽富澤香宣教師、根廻恵子宣教師(ザンビア)は1月15日に再赴任を予定していましたが、現地での南アフリカ由来の新型コロナウイルス変異種による感染拡大を受け、急遽出発を断念しました。今後ザンビアへの郵便物、物資の送付は中止くださるようお願いいたします。

(IWF関連)

▽2021年の宣教師たちの予定は以下の通りです。奉仕依頼については直接、宣教師にお問い合わせください。

*アンドレア宣教師 6月～8月 帰国

*ホーリー宣教師 10月～2022年3月まで帰国

*ザック宣教師ご夫妻 2021年は帰国。

*ブランドン宣教師は下関教会を中心に活動。

*ロビン宣教師ご夫妻 石川県在住(ロビン・ホワイト、陽子宣教師連絡先)

924・0878

石川県白山市末広1-156 コ

発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣
発行所 東京都千代田区神田駿河台1-1

ートハウスけやき307
Eメールアドレス
Robin.White@gponline.org
電話 070-4501-7580

▽IWF基金は申請すればIWFの宣教師を教会に招くための支援、また教会堂の修理や改築費用の融資のために用いることができます。

■教育局
<教育部・生涯学習課>
▽第3回若手牧師研修リモートミーティング
日時 3月2日(火)

テーマ 「牧師としていたらいいな、こんな友達」
(Zoomによる開催を予定)

<教育部・信徒教育課>
▽各教会で自由にご活用いただける信徒向け聖書講座(無料)を提供中(3ページのご案内を参照)。

内容 「使徒の働き」の学び
講師 岩上敬人師(丁E.A.総主事)

教団のホームページから視聴していただけるようになっていきます。(詳細は富士見台教会 野田師までご連絡ください。)

<青少年部・中高生課>
▽とにキャン・フェスティバル
日時 3月30日(火)

(Zoomによるオンライン開催)

■聖宣神学院
▽入学審査は3月1日(月)です。お祈りください。

▽卒業式のご案内 3月12日(金)午後1時30分開式。卒業証書授与はオンラインでご覧いただける形で行います。

▽神学院祈り会は行いません。

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇
OCCビル イムマヌエル綜合伝道団本部

▽ベテルハウス利用についてお問い合わせは学務課・馬場師まで。

■出版事業部

▽長年ご利用いただきましたイムマヌエル讃美歌は在庫僅少のため、1月末をもって出荷終了となります。今後は讃美歌150等の利用をお願いいたします。なお、讃美歌150は3月末まで一割引にて販売いたします。

▽例年のように「祈りのネットワーク2021」の原稿・写真の送付をお願いいたします。送付先は inori@immanuel.or.jp、久留米教会です。詳細は編集担当の吉村和記先生にお尋ねください。

消息報告



▼住所変更のお知らせ
竿代信和師は昨年8月より特養に入所されました。新住所は兵庫県明石市硯町2丁目7・20・702となります。

▼大塚千穂子師(京都西教会/京都伏見教会)のお母様、大塚芳子姉が1月4日、85年の地上生涯を終えて召天されました。ご遺族に天父のお慰めをお祈りください。

▼ミッションハウスの土地についてはこれまで借地契約でしたが、昨年12月、土地の移転登記が完了し、イムマヌエル綜合伝道団の名義となりました。お祈りとご協力に感謝いたします。

教報PDFパスワード 8428

新生宣教団 定価 一部110円(税込)
郵便振替 001107133609

新生宣教団 定価 一部110円(税込)
郵便振替 001107133609

新生宣教団 定価 一部110円(税込)
郵便振替 001107133609